

10/31
12/28
5/10

高浜原発の過酷事故時

実動部隊の対応不明確

照 高浜原発で過酷事故が起きた際、住民避難では県高浜原子力防災センター（高浜オフサイトセンター）に設置される現地对策本部が実動部隊をコントロール。

要請に従って防衛省が人員や物資の緊急輸送、警察が避難住民の誘導をするなど実動部隊の役割が決まっている。

一方、事故制圧体制について杉本副知事が「実動部

隊をどう動かしていくのか、たぐさんの機関が入ってくると指揮命令をどうするのか不明確」と指摘。「早く決めるよう各省と協議を」と求めた。

山本官房審議官は原子力規制庁が防衛省、警察庁、消防庁などと連絡会議を設けていることを報告。「具体論を議論しているところ。指揮命令系統をどうするかまではまだ至っていない」と認め、指摘を規制庁に伝えると約束した。

（塚田真裕）

三十日に県庁であった杉本達治副知事と内閣府の山本哲也官房審議官の面談。関西電力高浜原発（高浜町）で過酷事故が起きた際の防災体制について、発電所内で事故の制圧に当たる自衛隊や警察、消防など実動部隊がどのような指揮系統でどう対応するか、現時点で決まっていないことが明らかになった。●面参



内閣府の原子力防災の取り組み状況を杉本達治副知事●に説明する山本哲也官房審議官●30日、県庁で